

循環器内科

主な対象疾患

- ・虚血性心疾患
- ・不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈）
- ・心不全
- ・心筋症（拡張型心筋症、肥大型心筋症、心サルコイドーシス、心アミロイドーシスなど）
- ・心臓弁膜症
- ・末梢動脈疾患
- ・冠危険因子の管理（高血圧症、脂質異常症、糖尿病、慢性腎不全）



専門分野

循環器疾患全般

資格等

日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士

部長代行

ひらぬま のりとし
平沼 永敏

H18年卒

診療科の特徴

●高精度な検査と低侵襲治療

外来で造影CTや血管・心エコー図検査などを用いて、心血管の状態を正確に評価し、入院のうえ、心臓・血管カテーテル検査・治療を行います。また、徐脈性不整脈に対しては、経静脈アプローチだけでなく、リードレスペースメーカーも施行できるようになり、患者さんのQOL向上に努めます。

●高齢者の「心不全」に対する包括的なアプローチ

増加する高齢心不全患者に対し、ガイドラインに基づいた薬物療法だけでなく、運動療法・栄養指導・生活習慣の改善まで含めた包括的ケアを実践し、再入院の防止を目指します。

●救急対応から慢性期の薬剤調整まで柔軟にサポート

急性疾患への緊急対応はもちろん、「慢性期の薬剤調整が難しい」といった症例のご相談ください。また、不整脈の専門医は週1回の診察（金曜日）ですが、専門外来以外でも対応させていただきます。診察のうえ、必要があれば専門医にて診察させていただきます。

地域医療機関の先生方へ：ご紹介時のお願い

- ・ **ABI<0.9**：心血管リスクが高いためご紹介ください。
- ・ **BNP≥35、NT-proBNP≥125**：心不全の可能性があるので紹介ください。
- ・ 心不全や胸痛などの緊急時は時間内救急当番医が随時対応いたしますのでご相談ください。
- ・ 当科での加療・薬剤調整が安定した後は、速やかに逆紹介（かかりつけ医での継続診療）をさせていただきます。